

# 据付説明書

インダクションヒータ Hi-25RB

テーブル、カウンター組込みタイプ

この器具を正しく安全に設置していただくために、この「据付説明書」をよくお読みになって指定された工事を行ってください。

## 安全のため必ずお守りください

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので必ず守ってください。  
表示と意味は次のようになっています。



警告

誤った取扱いをした時に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

誤った取扱いをした時に、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例



この記号は「禁止」（しないでください）を示します。



この記号は「強制」（必ずしてください）を示します。



告



●改造はしないでください。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしないでください。  
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。



- 設置工事は、この「据付説明書」に従って確実に行ってください。  
設置に不備があると、漏電・火災の原因になります。
- 電気工事は、電気設備技術基準等関係する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行ってください。感電のおそれがあります。
- 設置するときは、火災予防条例に基づいて、可燃物との離隔距離を必ず守ってください。  
距離が近いと火災の原因になります。
- 電源プラグは刃及び刃の取付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。  
火災の原因になります。
- 必ず専用回路とブレーカーを設置してください。  
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常加熱して発火することがあります。
- 漏電しゃ断器を設置してください。  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- 電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行ってください。
- 金属などの不燃物に取り付けてください。  
火災のおそれがあります。

# 安全のため必ずお守りください



告



アースを確実に取り付けてください。



故障や漏電のときに感電・火災のおそれがあります。

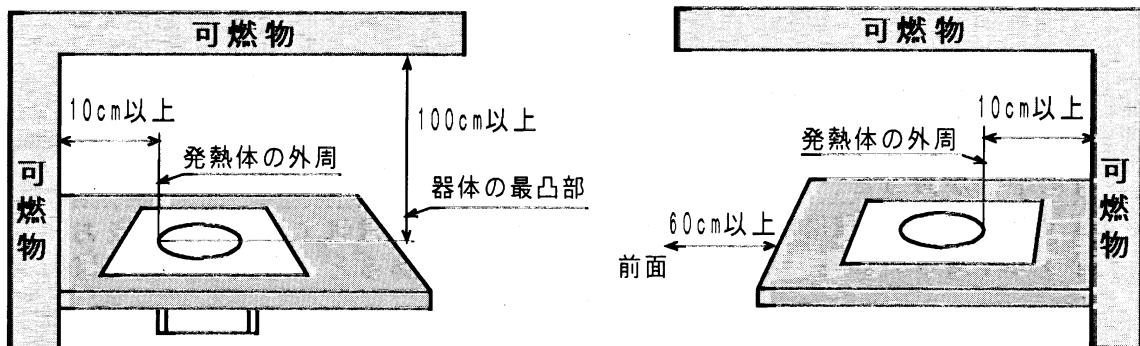


意

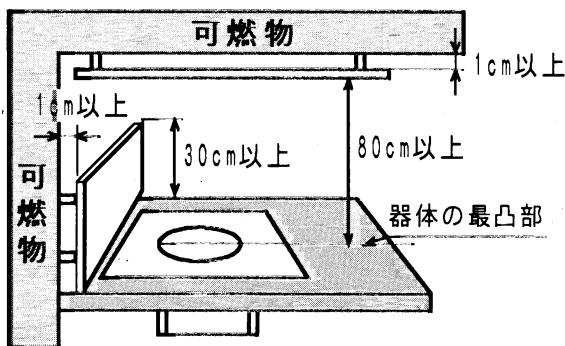
	<ul style="list-style-type: none"><li>●トッププレートに衝撃を加えないでください。万一ヒビが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。</li><li>●電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差込がゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。</li><li>●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張たり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・漏電の原因となります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●試運転中は、トッププレートなど高温部に触れないでください。 やけどのおそれがあります。</li><li>●糸くず、紙、木くず、ほこり、金属くずなどの異物をIHインバータ内に侵入させたり、冷却ファンの部分に付着させたりしないでください。 火災・事故のおそれがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●損傷、部品が欠けているIHインバータを据付け運転しないでください。 火災・事故・けがのおそれがあります。</li><li>●吸排気が確保できない場合は外部ファンを追加にて取り付けてください。 故障のおそれがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●天板の材料には、耐熱材料（熱硬化樹脂化粧板(JIS-K-6903)またはこれと同等以上）のものを使用してください。耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。</li><li>●電源プラグを抜くときは、電源コードをもたずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。</li></ul>

## 設置場所の確認

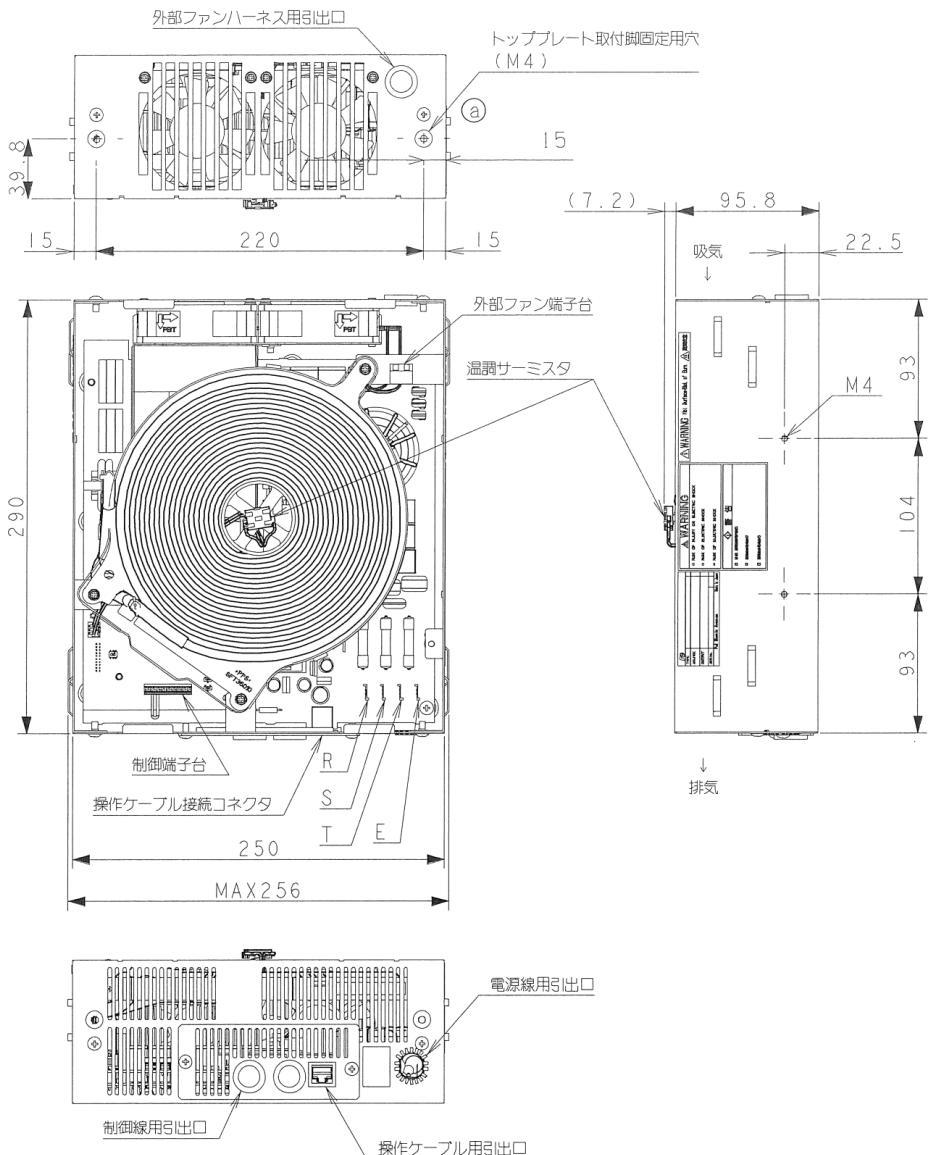
- 火災予防条例、電気設備技術基準59条に従って設置してください。
- カウンタトップは、熱硬化樹脂化粧板(JIS-K-6903)またはこれと同等以上の耐熱性のあるものを使用してください。ニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
- 製品の金属部が取付台の金属部と接触する場合は建物の壁中の金属(メタルラスなど)と取付台の金属部を接触しないようにするか、または本品の金属部が取付台の金属部に接触しないように取り付けてください。
- 製品を設置する厨房が建築基準法に定める[内装制限を受ける調理室]に該当する場合には、厨房全体についても内装材の制限を受けます。
- 製品は水平に設置してください。
- 製品は火災予防上、可燃物との間を下図のように離して取り付けてください。



- 上記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。  
天板よりトッププレートを落とし込む場合も同様の対応を行ってください。



## 外形図



## 各部の名前

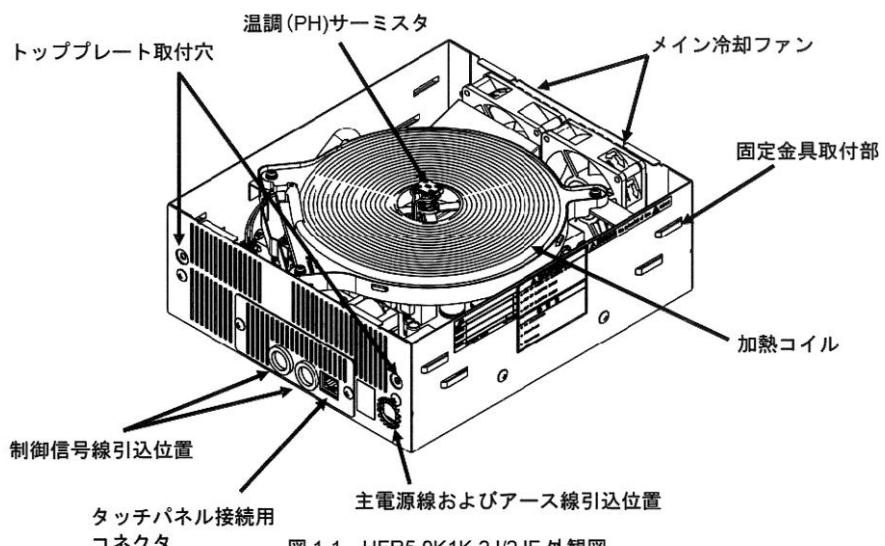


図 1-1 HFR5.0K1K-2J/2JF 外観図

# Hi-25RB 取り付台の加工①

## ○取り付穴の加工

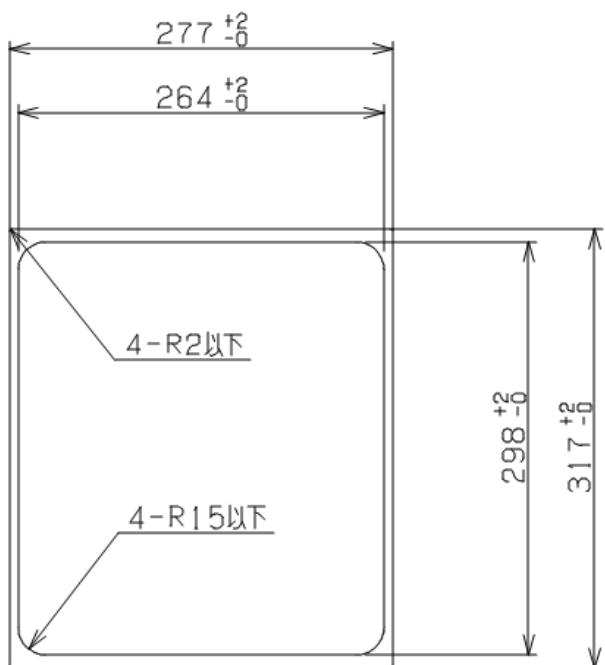
本体と操作部の取り付用の穴をあけます。

取り付台天板の板厚は20~45mmにしてください。

※「本体取り付穴」と「操作部取り付穴」の間隔は本体と操作部が接触せず、かつ接続コードが届く範囲にしてください。

## ■本体部取り付穴 単位:mm

プレートサイズ（標準プレート）275×315用



2026/01 改定

## Hi-25RB 取り付台の加工②

### ○取り付穴の加工

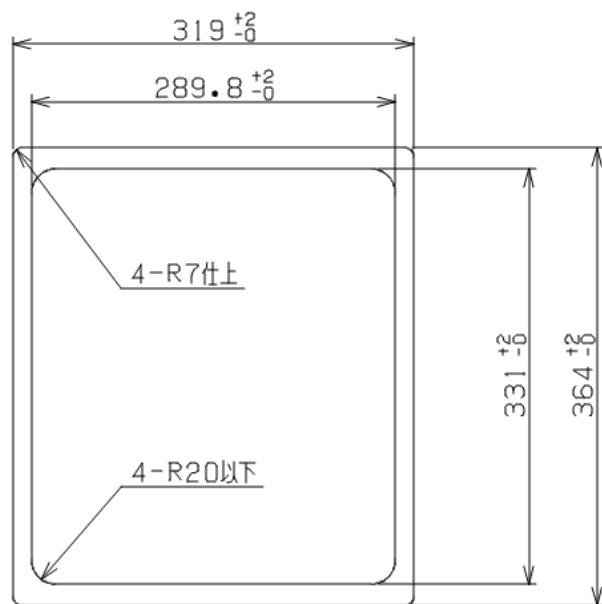
本体と操作部の取り付用の穴をあけます。

取り付台天板の板厚は20~45mmにしてください。

※「本体取り付穴」と「操作部取り付穴」の間隔は本体と操作部が接触せず、かつ接続コードが届く範囲にしてください。

### ■本体部取り付穴 単位:mm

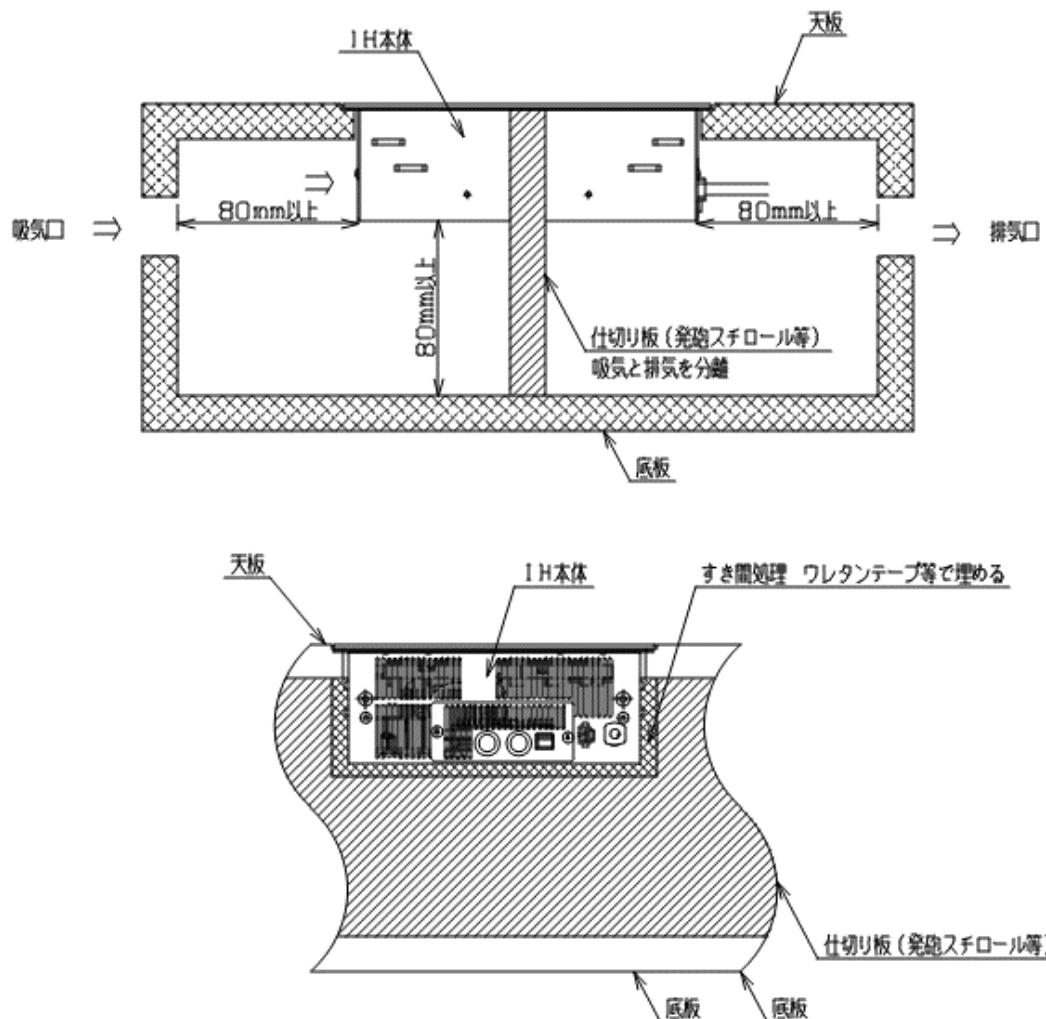
プレートサイズ (D250用プレート) 315×360用



2026/01 改定

## Hi-25RB 取り付台の加工③

### ○ カウンター等の閉鎖空間に取り付ける



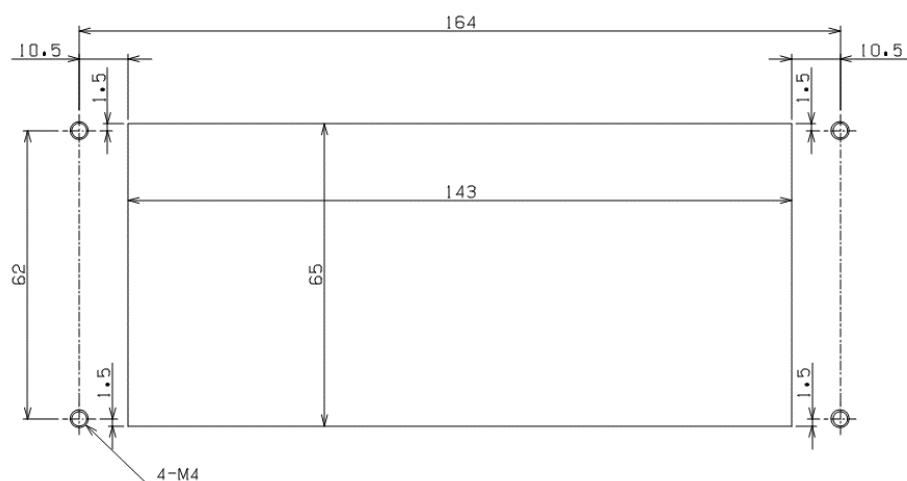
## 操作パネル取り付穴の加工①

TP-1K 用

## ○取り付穴の加工

- 本体と操作部の取り付用の穴をあけます。
  - 取り付の板厚は12mm以上にしてください。

※「本体取り付穴」と「操作部取り付穴」の間隔は本体と操作部が接触せず、かつ接続コードが届く範囲にしてください。※タップは板金加工時のみ

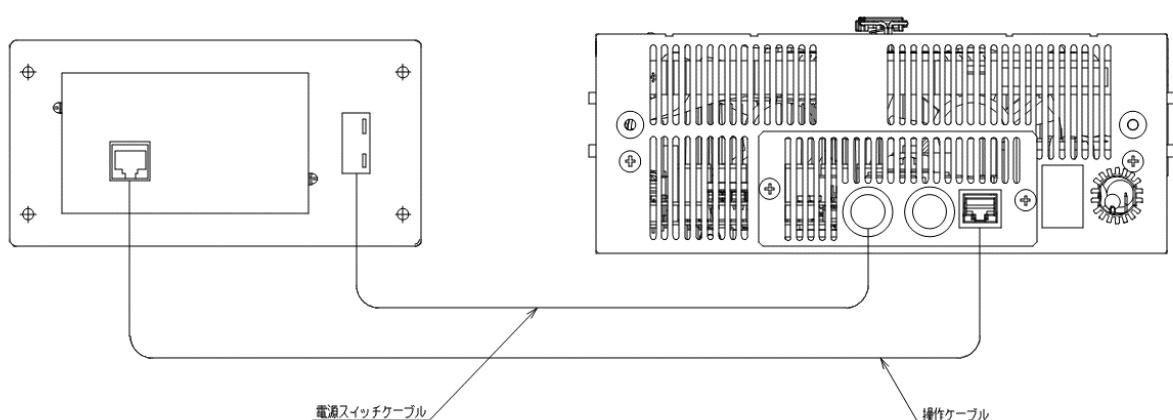


### ○操作パネルの取り付け

- 操作パネルを丸ネジで取付てください。
  - 必ず本体の吸気側に取付てください。

### ○操作パネルと IH インバータの接続

操作パネルと IH インバータのコネクタを操作ケーブルにて接続してください。



## 操作パネル取り付穴の加工②

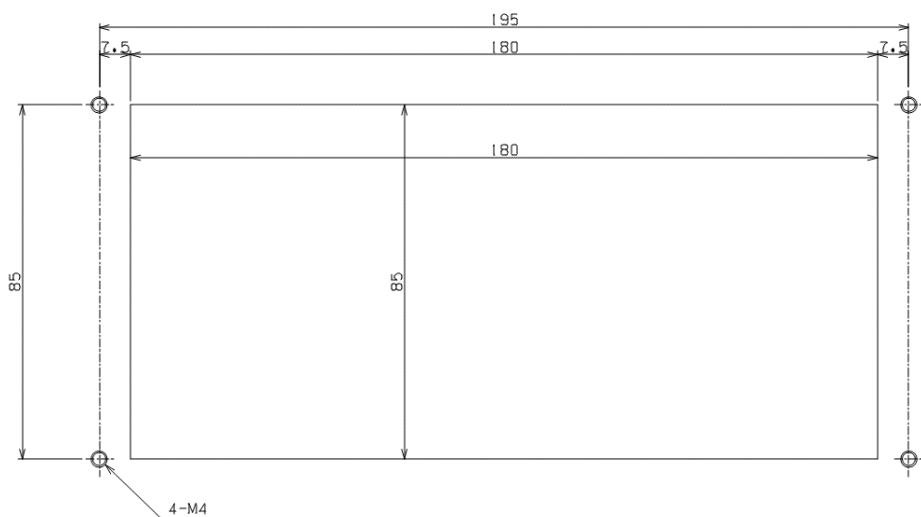
TP-1G 用

### ○取り付穴の加工

- 本体と操作部の取り付用の穴をあけます。

- 取り付の板厚は12mm以上にしてください。

※「本体取り付穴」と「操作部取り付穴」の間隔は本体と操作部が接触せず、かつ接続コードが届く範囲にしてください。※タップは板金加工時のみ

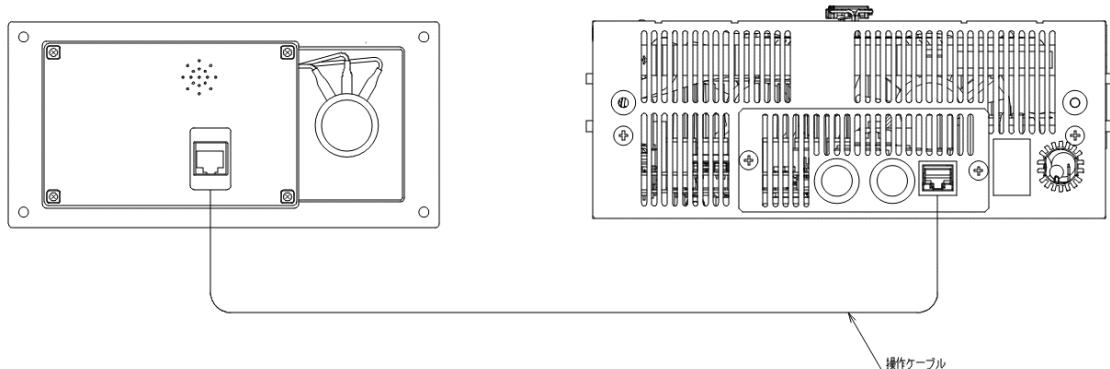


### ○操作パネルの取り付け

- 操作パネルを丸ネジで取付てください。
- 必ず本体の吸気側に取付てください。

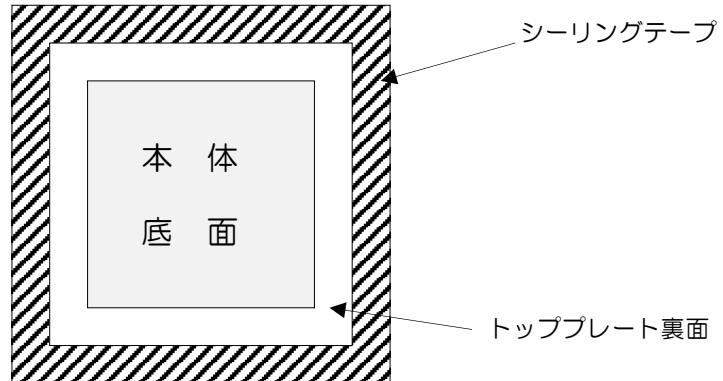
### ○操作パネルとIHインバータの接続

操作パネルとIHインバータのコネクタを操作ケーブルにて接続してください。



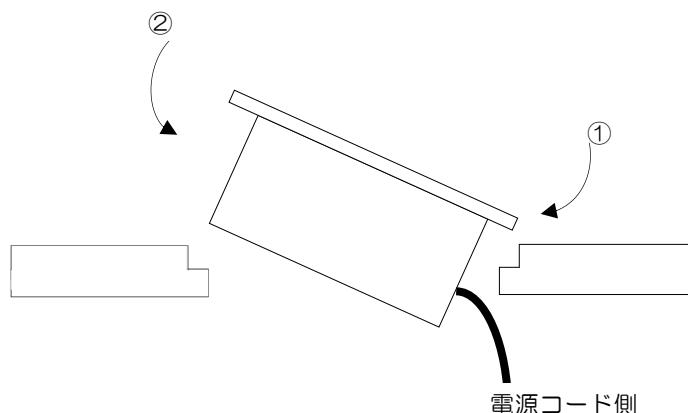
## 本体と天板間の防水処理

防水処理のため、シーリングテープをトッププレートの各辺の長さに合わせて切り、トッププレートの裏面に隙間がないように貼り付けてください。



## 本体はめ込み

本体を電源コード側から①→②の順ではめ込んでください。



## 本体の固定

●本体を固定金具とボルトで固定します。

●固定金具を本体側面の取付部にはめ込み、ボルトを天板にあたるまで締め、4ヶ所で固定して下さい。

固定金具は図2-4の付属固定金具を使用されるか、図2-5のIHインバータ本体固定金具取付部の詳細にお客様にてご準備ください。

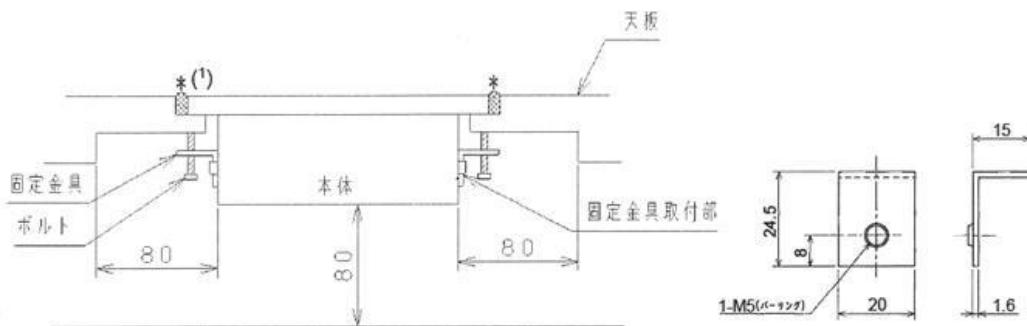


図2-3 IHインバータ本体固定方法

図2-4 付属固定金具

注(1)\*部における天板とトッププレートの隙間はシリコンシール剤(信越化学工業製 KE45RTV)などでシールしてください。

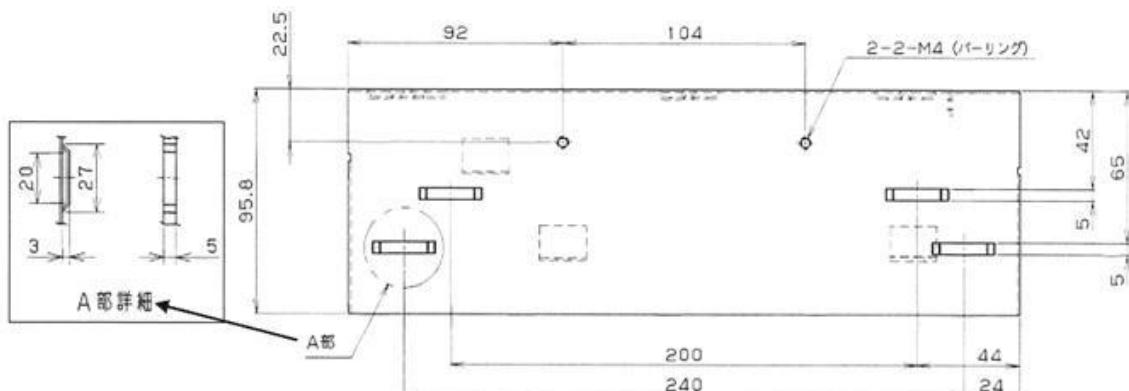


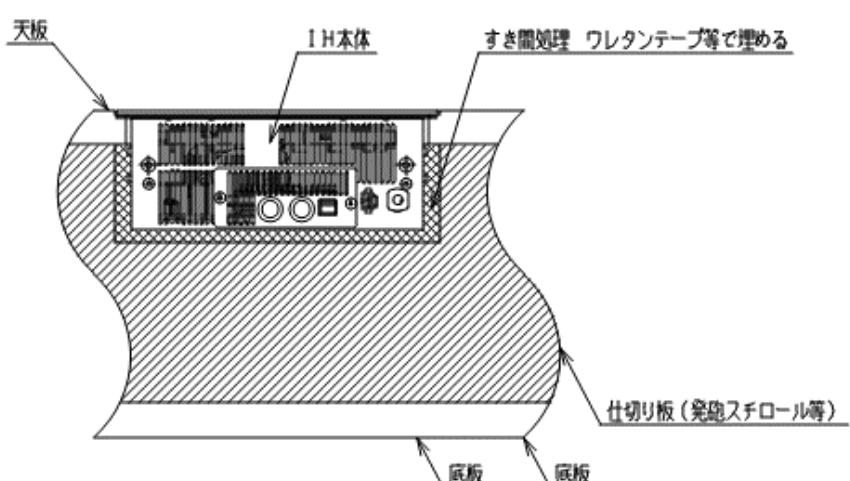
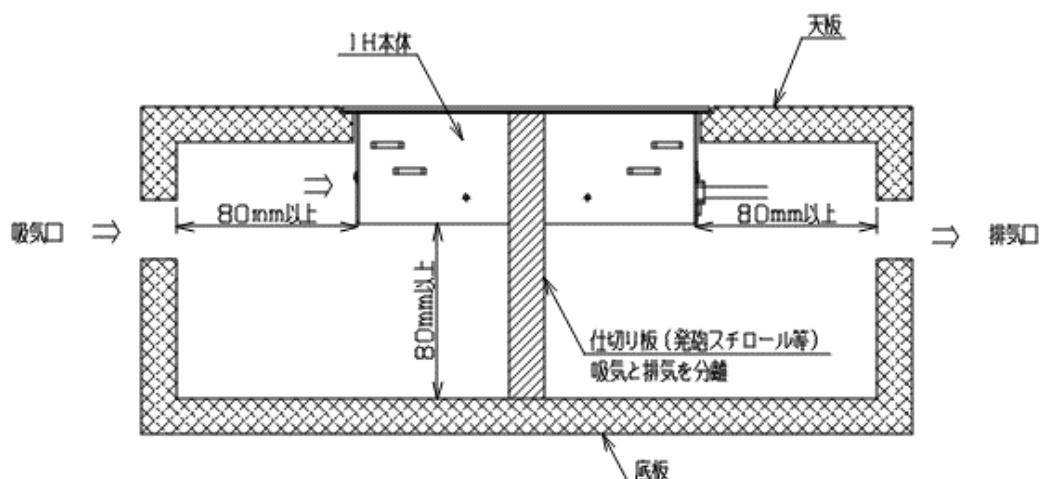
図2-5 IHインバータ本体固定金具取付部の詳細

# レンジ・コンロの構造上の注意点

## レンジ・コンロの構造上の注意点

IH インバータを収納・据付するレンジ・コンロ等の装置が IH インバータの品質・性能低下につながらないよう下記の内容を充分考慮してください。

- 吸気側にエアーフィルターを設ける(フィレドン製 PS150 相当品)
- 排気側の空気が吸気側に回り込まないように仕切り板を設ける
- アフターサービス時に容易に取り外せる構造にする
- インバータの周囲温度および冷却ファンの吸気口は 50°C 以下になるようにする。
  - 1) ガス器具等の排気熱が回り込まないように通風経路を考慮する
  - 2) ガス器具・フライヤー等の熱が直接レンジに伝わらないようにする。



警告	● 金属などの不燃物に取り付けてください。 火災のおそれがあります。
	● 可燃物を近くに置かないでください。 火災のおそれがあります。
注意	● 糸くず、紙、木くず、ほこり、金属くずなどの異物を IH インバータ内に 侵入させたり、冷却ファンの部分に付着させたりしないでください。 火災・事故のおそれがあります。

---

---

ご相談窓口

**ハイデック株式会社**

本 社 : 〒607-8185 京都市山科区大宅神納町 6 番地

TEL : 075-573-3332 FAX : 075-573-3990

東京支店 : 〒135-0044 東京都江東区越中島 1 丁目 3 番地 12-1310

TEL : 03-3642-0895 FAX : 03-3630-0825

---